

ご挨拶

- | | |
|------|--------|
| ①出身地 | ②研究内容 |
| ③趣味 | ④好きな言葉 |



教授就任のご挨拶

三上 幸夫

大学病院 リハビリテーション科 教授

*協力講座名「リハビリテーション学」

- ①広島県 ②運動器リハビリテーション、急性期リハビリテーション、パラスポーツに関する研究 ③旅行（史跡巡り、温泉地巡り）
④ “失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ”

令和4年5月1日付けで広島大学病院 リハビリテーション科 教授に就任いたしました、平成7年東北大学 医学部卒業の、三上 幸夫と申します。

リハビリテーション医学は、「機能を回復し、障害を克服し、活動を育む」ものであり、「機能障害科学」とも称されます。従って、リハビリテーション関連専門職は、WHOの機能障害分類ICF（International Classification of Functioning, Disability and Health）に基づいて、様々な疾患や外傷に関連する「機能障害」の臨床診療と研究活動を行っております。超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学のニーズは急速に高まっており、その果たすべき役割は大きいと考えます。

今後は微力ながら、広島大学のさらなる発展に貢献できるよう、臨床・研究・教育に誠心誠意尽力して参る所存です。何卒よろしく申し上げます。



就任のご挨拶

岡 志郎

大学院医系科学研究科 医学分野 消化器内科学 教授

- ①広島県 ②消化管腫瘍（特に大腸癌）の内視鏡診断・治療、小腸疾患の病態解明
③読書、城巡り ④今日も生涯の一日なり

令和4年7月1日付で、大学院医系科学研究科 消化器内科学の教授に就任しました岡 志郎と申します。この場をお借りしご挨拶申し上げます。

私は広島大学 医学部医学科を平成6年に卒業し、大学病院と広島市立安佐市民病院にて研修後、平成8年に当時梶山 梧郎先生が主宰されておりました広島大学 第一内科に入局いたしました。入局後は済生会呉病院で3年間消化器内科医として研鑽し、帰学後に消化管研究室に所属しました。その後は田中 信治先生（現 内視鏡診療科教授）のご指導のもと、広島大学にて20年以上にわたり消化管腫瘍（特に大腸癌）の新たな内視鏡診断・治療法の開発、小腸疾患の病態解明の研究を中心に組み立てまいりました。消化管内視鏡領域の進歩はこの20年間で日進月歩に目まぐるしい発展を遂げてきており、私自身も新規モダリティや人工知能（AI）の開発、新規内視鏡治療法の臨床応用など最前線で働くことができました。今後も医工連携や産官学共同研究、基礎講座との連携をさらに推進したいと思います。

また、消化管領域のみならず肝臓、胆膵領域を含めた消化器病学全体の発展のために基礎・臨床研究に取り組むとともに、世界で活躍できる後進の育成に力を入れていく所存です。今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んで申し上げます。